



厚東川中だより第13号  
宇部市立厚東川中学校  
令和4年10月21日発行

## 全国学力・学習状況調査結果 その2

### □生徒質問紙から見える課題

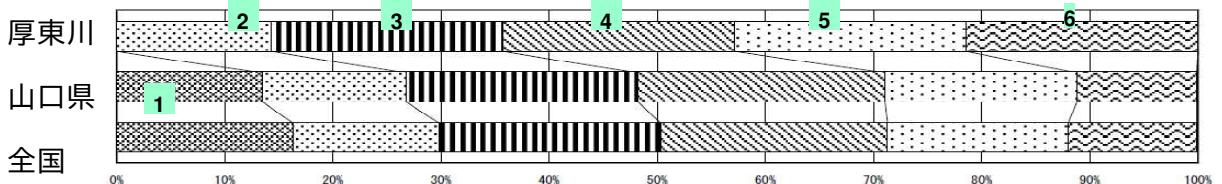
学校だより前号に続き、「全国学力・学習状況調査」結果ですが、やはり、全校的な課題として考えていきたいです。

#### 【携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方】

##### ◆普段(土、日以外)の1日のテレビゲーム(コンピュータゲーム等)使用時間

選択肢	1	2	3	4	5	6
厚東川	0.0	14.3	21.4	21.4	21.4	21.4
山口県(公立)	13.5	13.3	21.5	22.9	17.8	11.1
全国(公立)	16.3	13.5	20.5	21.0	16.7	11.9

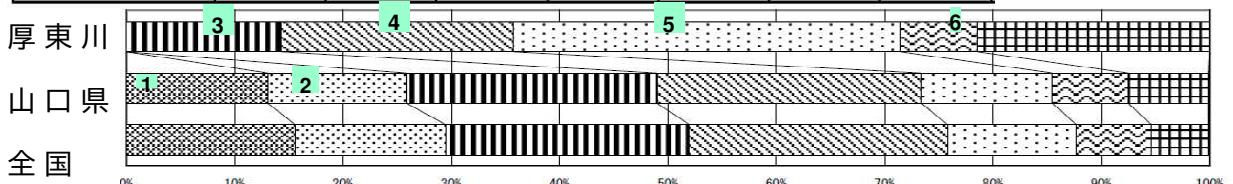
- 1 4時間以上  
2 3時間～4時間  
3 2時間～3時間  
4 1時間～2時間  
5 1時間未満 6 しない



##### ◆普段(土、日以外)の1日の携帯電話でのSNSや動画視聴時間(ゲーム時間を除く)

選択肢	1	2	3	4	5	6	7
厚東川	0.0	0.0	14.3	21.4	35.7	7.1	21.4
山口県(公立)	13.1	12.8	23.1	24.4	12.1	7.0	7.4
全国(公立)	15.6	13.9	22.5	23.8	11.9	6.9	5.3

- 1 4時間以上  
2 3時間～4時間  
3 2時間～3時間  
4 1時間～2時間  
5 30分～1時間  
6 30分未満  
7 携帯電話を持ってない



携帯電話・スマートフォンやコンピュータいずれかを、調査した3年生徒の9割以上が持っており、「家の約束がある」生徒は全体の半数で、だいたい守れていると回答しました。また、「約束がない」家庭は4割程度あります。

普段(土日以外)のテレビゲームを2時間以上使用する生徒、加えて、携帯電話等でSNSや動画の視聴を1～3時間する生徒は4割程度おり、平日にゲームとSNSや動画視聴に多くの時間を費やしている生徒は少なくないことがわかります。

#### 【挑戦心・達成感・自己有用感・信頼感等】

「自分にはよいところがある」「将来の夢を持っている」「自分でやると決めたことはやり遂げる」「先生はあなたのよいところを認めてくれている」という質問について、9割前後の生徒が肯定的に答えており、自己肯定感、自己有用感といった自分に対する自信や信頼が根付きだしていることがわかります。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」は93%「友達と協力するのは楽しい」は100%と、他者の意見を尊重し、協力する意義を感じています。

しかし、「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」65%の回答から、失敗を恐れず困難に立ち向かうことへの自信のなさや、安心して挑戦できない環境の不安もうかがえます。

#### 【家庭学習】

「学校からの課題」について、自分で調べたり、分からぬところを友達に聞いたりして自分で解決できる生徒は多いです。一方で「わからないところはそのままにしている」、「計画を立てて勉強をしていない」生徒も少なくありません。また、普段(土日以外)の1日あたりの勉強時間(学習塾等を含

める)は、2時間以下の生徒が6割を占めます。上記のテレビゲームや携帯電話等の使用時間を考えると、当然と言える結果です。

### 【地域や社会に関わる活動状況】

コロナ禍ではありますが、「地域行事に参加している」と答えた生徒は、6割を超え、県・全国に比べて多いです。反面、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」という質問に肯定的に答えた生徒は4割程度で、県・全国と比較して少ない結果です。

## 4 生徒質問紙から見える課題への対策について

生徒質問紙調査の回答内容と全国学力・学習調査の正答率は、大きく関わり合っています。生徒質問紙調査結果から学力向上の糸口が見つけられます。

○ 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方」については、学校評価アンケートでも同様に、生徒の意識と保護者の方の意識に違いがあることがわかります。バランスを取りながら使いこなしている生徒もいますが、コントロールできていないことに気づいていない生徒もいます。小中一貫での取組、家庭との連携が必要です。ゲームも含めて全くさせないのでなく、コントロールしながらの使い方を身につけさせることが重要です。そのためにも、子どもがどのような使い方をしているか、親がしっかりと把握することが必要です。各家庭でのルール作り、さまざまな場面を使い「時間と自分をコントロール」して、学習時間を確保していく練習が必要だと考えます。

○ 自己肯定感・自己有用感や達成感は、何事を行うにしても「やる気」「原動力」につながります。「将来の夢」がもてるのも、自分の可能性への自信です。これら3年生の「よさ」は学校だけで養われたものではなく、家庭・地域との連携の中でも育まれたものと考えます。

反面、失敗を恐れず困難に立ち向かうことへの自信のなさも見えることから、「よさ」をさらに高め、学校全体に浸透させるために、「主体的に考え、周囲の人と協力してさらによりよいものを創り出す場面」を設定し、経験値を上げさせることが必要と考えています。その場面には地域、小学校との連携も有効な要素だと考えます。生徒の思いを大切にし、様々なチャレンジを促し、経験値を上げるとともに、生徒一人ひとりの困り感や悩みに寄り添った支援や指導に努め、安心して相談できる関係の構築と、環境づくりを行いたいと思います。

## 宇部市新人体育大会結果

☆お知らせが遅れましたが、9月3日(土)4日(日)宇部市新人体育大会が行われました。新チームになって初めての公式戦でしたが、各部とも全力のプレーを見せてくださいました。

- 卓球部女子団体戦3位
- 卓球部男子個人戦9位



☆10月6日(木)山口県新人大会に出場する卓球部女子団体と、卓球部男子個人の選手への激励の壮行式を行いました。厚東川中からは久しぶりの県大会出場となり、力強い意気込みと激励の拍手で会場は沸きました。

## 全校スピーチ 「夏の思い出」

8月31日(水)「夏の思い出」をテーマに、第5回全校スピーチを行いました。1年生は、コロナ禍で何年も会えなかつたときに、久しぶりに会えて楽しかった思い出を話しました。

2年生は所属する吹奏楽部で、先生の熱い指導を受けながら、部員一丸となってコンクールに向けて取り組んだ思い出を語りました。3年生は、吹奏楽コンクールに向けてみんなの心を一つにして取り組み、大変な練習を乗り越えた充実した3ヶ月を振り返り、これからは、部活動と勉強の両立をめざすことを語りました。

